

活気溢れる職場に やりがいを 感じる企業



甲板手を経て航海士になり、操船をするという責任ある立場に緊張しつつもやりがいを感じ、日々船舶の安全運搬に努め、物流の一端を担っているのだという意識を持って一船員として働いています。

会社概要

安全・環境・未来を守ろうを目標に努力しています。

現在、当社は内航船3隻を保有しております。

主要航路は九州～中部～関東となり、自動車の完成車、石灰石、一般貨物を輸送しております。

乗船期間は約3か月、休暇は約1か月の一般的な内航貨物船と同じ業務体系です。男女差による仕事分けはほとんどなく、男性船員とほぼ同じ作業を行っております。

社内環境・取組

コミュニケーションを第一に働きやすい環境の場を

平成25年採用した女性船員は、現在は二航士として主に、荷役当直中は貨物の積載量や積載場所を考慮して効率よく荷受作業が行えるようバラストの調整を行い、航海当直では見張りや操船業務に従事しています。

設備面では、大型の自動車運搬船には女性専用の水回り区画を設置しているほか、新造船のRORO船には各居室にバス、トイレが完備されており船内環境も充実しています。

当社では、「コミュニケーション」を重要視しており、年2回以上、社長出席のもと、入渠中、停泊中に乗組員と本社職員による合同会議というコミュニケーションの場を設けています。乗組員同士だけでなく、経営者や本社職員との間でも積極的にコミュニケーションを取り合い、船で何か困りごとがないか、改善してほしい点、通達や報告事項等の話し合い、海陸一丸となって船舶の安全運航や船内環境の改善に取り組んでおります。

また、個人面談による相談や、困りごとがあればいつでも相談できるメンタルヘルス面でのサポート等、男女問わずに働きやすい環境を構築に努めており、結果として船員の信頼を得ることができ、以前より船員の定着率が上がりました

今後も船員が楽しく安全に働く環境を考え、活気溢れる職場を目指して、取り組んで参ります。



船内で定期的に行われる教育訓練の様子です。乗組員全員が参加し、航海機器の習熟訓練、救命器具取り扱い説明、消火訓練、非常操舵等を行っています。



祖父が二人とも外航船員だったこともあり、船員として働くことに憧れて航海士の道を進みました。自分が操船する船が日々各港へ貨物を運び、物流の一端を担っているのだという実感がやりがいを感じます。

会社の概要

宮崎産業海運株式会社

代表者：代表取締役社長 宮崎昇一郎

所在地：大分県津久見市

資本金：8,750万円

事業内容：内航海運業

従業員数：77名

(令和3年5月時点)



URL：<https://www.myship-co.jp/>